

育連だより

<http://web-k.jp/ikuren/>

第26回スカウト交流派遣隊

日本ボーイスカウト川崎地区協議会 派遣隊長 境 紳 隆

1985年に始まったボルチモア市・川崎市のスカウト交流派遣隊も今回で26回目となりました。今回は、川崎市の派遣隊がボルチモア市を訪問する番で、高校生主体のスカウト10名・指導者5名が参加しました。

7月28日に成田を出発、13時間程のフライトを経てワシントンのダレス空港に到着しました。同日ホストファミリーとの対面式を行い、各々ホームステイ先へ。いよいよ2週間余に渡る滞在が始まります。

合同プログラムは次の通りです。29日にウェルカムパーティー、31日NY観光、8月1日はボルチモア市長を表敬訪問し、川崎市長の親書をお渡ししました。夜には大リーグ、ボルチモア・オリオールズの試合観戦。開始前のセレモニーで8名(日米各4名)のスカウトが国旗のカラーガードを務めました。

8月2日から6日は、ボルチモア連盟の所有する広大な「ブロードクリーク」キャンプ場でのキャンプです。ホストスカウトと2人で1つのテントに宿泊し、様々なアクティビティを体験します。アーチェリー、ボルダリング、セールポートやバギーの運転等、日本ではなかなか体験できない活動を楽しみました。

8日は、南北戦争の激戦地として有名なハーバース・フェリーという街へ行き、歴史探訪を行うと共に川でカヤッキングを楽しみました。

11日は「さよならパーティー」です。お世話になった方々に感謝を込めて料理を作り、味わって頂きました。幸い皆好評でした。



姉妹都市
ボルチモア市モニュメント前にて



オリオールズ フラッグセレモニー



ボルダリングに挑戦



ATV (バギー) 乗車中

合同プログラムの無い日はホストファミリーの方々がいろいろと趣向を凝らして歓待してくださいました。滞在期間中、ホストスカウト&リーダーはいつも私たちと一緒にいてくださいました。来年、彼らが来日した際には精一杯恩返しに努めたいと思います。



ハーバース・フェリーにて
全員集合

カッターレース

川崎海洋少年団 山岡 修

海洋少年団は、船に親しむ活動の一つにカッターボートを活用しています。通常はボートを省略してカッターと呼んでいます。船の長さが6メートル、船の幅一番広いところで2メートルの大きさで、こぎ手（こぎ手）が6名、艇長が1名、艇指揮1名の計8名でカッターを動かします。

艇長（カッターの船長）の指示に従って、こぎ手6名が力を合わせてこぎ、カッターは水面をすべるように進んでいきます。ところが、強い力でこいでも、こぎ手がバラバラでは簡単には進んでくれません。ひとり一人がチームワーク良く、力強くこぎることが大切です。カッターから学べることは、人と人との協調性を高めることができ、

体も鍛えられます。

カッター活動の成果を見せられるのが全国大会となるのですが、今回は初夏に行われる横浜港カッターレースを紹介します。山下公園の前面の海でレースが行われます。

コースはスタートしてまっすぐに180メートル進み折り返して往復360メートルの競技です。レースの見どころは、止まっている状態から動き出すスタートと折り返し地点でうまく折り返しができるかが勝負どころとなります。

今年は、小学生の部7チームの出場があり、海洋少年団からも複数団が参加しました。



ガールスカウト神奈川県第32団創立45周年記念キャンプ

8月13日から16日までガールスカウト日本連盟の「戸隠ガールスカウトセンター」で創立45周年記念キャンプを行いました。

ガールスカウト神奈川県第32団
ブラウニー 加藤伶菜・宮崎七碧
大橋知佳・館岡百音

わたしたちがこのキャンプで一ばん楽しかったのは、ハイキングと牧場です。ハイキングはささやきのみちというところに行きました。途中で「くまがでるかも」と書いてあったのでみんなで歌を歌って歩きました。牧場はモルモットとうさぎとやぎとひつじがいました。モルモットはおながふわふわしていてきもちよかったです。今回のキャンプでは星が見られなかったので、今度のキャンプでは星が見られるといいなと思いました。

ジュニア 井上 真琴

戸隠キャンプの思い出の一つは、ごみの分別です。戸隠はごみの分別がきびしくて、いつも家でしている分別より細かくて、少しでも汚れていたら燃えるごみになって、生ごみは肥料にするそうです。肥料になるまで半年かかるのを聞いてびっくりしました。でも、細かく分別することで、自然が守られるのを知り、家でも細かく分別したいと思いました。



ジュニア 秋山 夏鈴

戸隠キャンプの思い出の一つは、モンキーロープです。モンキーロープの前にロープの練習をして、知らない結び方があったので、知ることができて良かったです。モンキーロープでは、ロープを引っ張るのが大変だったけど、乗ってみるとすごく楽しかったです。シニアレンジャーのもやってみたら、やっぱり乗るときはこわくて、ロープの位置もすごく高かったけど、とても楽しかったです。

八ヶ岳宿泊研修会に参加して

中原区子ども会連合会 JLカインズ 押切 春香

中原区子ども会連合会は、8月20日から22日の二泊三日で八ヶ岳少年自然の家で宿泊研修会を実施しました。私にとってJLになってから2回目の八ヶ岳でしたが、昨年とはまた別の楽しさがありました。

1日目、朝早くに集合しJLの打ち合わせや各班の確認後、簡単な出発の挨拶があり班別にバスへ乗車しました。バスの中は、楽しそうにおしゃべりする子や寝てしまう子等それぞれがちがうことをしながら一路八ヶ岳へと道路は渋滞もなく順調でした。トイレ休憩を2回とり、特に問題もなく予定より約1時間も早く八ヶ岳に到着したことは本当に驚きで昼食前に多少でも自由時間や休憩時間が取れたことは良かったです。

そして高津区、中原区、多摩区、麻生区のJLとの打ち合わせや引き継ぎと交流の機会もありました。夜のカレー作りは家で食べるカレーとは違った味になったのではないかと思います。

2日目は林の中で自作基地づくりや生き物観察と夜はキャンプファイヤー等、多くの内容で大変でしたが、各計画とも参加した子ども達は楽しく出来ていたと思います。その中でも一番感動を覚えていることが、生き物(メダカや昆虫類)を探す観察で、みんな夢中でした。

私たちJLが考えた企画で成功するか不安でしたが、当日は天気も良く、子どもたちとJLも一緒に楽しんで、池のメダカや水中の生き物を網で捕ったり、触ったりできました。なかなか都会では出来ない自然遊びの体験を来年もやりたいです。

今年もお昼は多摩区子ども会連合の役員のご協力で「流しそうめん」を行い、子どもたちが楽しく食べる笑顔が嬉しかったし印象に残りました。



しかし、反省もたくさんあります。特にキャンプファイヤーの時間がおしてしまったことが一番反省することでした。今回の活動を今後の参考にしたいと思います。

来年は今年の成功したことや失敗したことを生かして、また研修生や参加者の皆さんに楽しんでもらえる内容にしたいです。

「中原区子ども会連合会JL Kind'sがんばります」

訓練ハイキング

日本ボーイスカウト川崎地区協議会 第43団 西角 遥

今回、私たちはボーイ隊にスキルを磨いてもらおうというベンチャー隊スカウト^{※1}有志でプロジェクトを約5か月間かけて行いました。プロジェクトの内容としては、ボーイ隊にターゲットバッジが取得できるよう、講習会を開き、それらを課題とするハイキングを川崎北部団である53団・46団・43団に交流も兼ねて行ってもらうというものでした。そこから、各団のボーイ隊、ベンチャー隊隊長のご指導をいただき、最終的には地図作業及びコンパスの使用法、計測、通信、野帳のつけ方を講習会で指導し、10kmほどのその内容を課題とするハイキングとなりました。講習会では一部、時間配分が出来なかったことが反省点ですが、最終的には予定より早く終わり、余った時間でドッジボールを行い団同士の交流が出来、良かったと思います。11月23日に行われたハイキングでは、歩測、手旗、により距離測定などの課題を行ってもらい、読図のみではなく、追跡ハイイクや野帳を用いたハイキングも行ったので、内容としてはスカウトスキルを発揮できるいいものになったと思います。スカウトの声か

ら「ハイキング楽しかった」「手旗を読めるようになった」という嬉しい言葉をもらい、達成感を感じました。

プロジェクトを通じて、活動を作る事の苦勞や楽しさを感じることができました。このプロジェクトに関わってくださった、各団関係隊長、参加のボーイ隊スカウト、そしてプロジェクトリーダーをはじめとするメンバー、ありがとうございました。

※1 ベンチャー隊スカウト…高校年代
ボーイ隊スカウト…小6～中3



「ガールスカウトの日」 ガールスカウト川崎市連絡会

ガールスカウト神奈川県第48団 ジュニア 橋本 洋

午前中、私は「ユニセフ・ラブウォーク」で3キロ歩きました。思ったよりも歩けたので良かったです。途中、ハートの石を見つけたり所々にあるプリンちゃんの看板があったりで楽しかったです。午後は「防災マイスターバッジ」にチャレンジのために48団は前の集会から練習をしていた三角巾のコーナーを担当しました。48団のスカウト・リーダーで三角巾をみんなに教えました。自分でもためになって良かったです。この三角巾の技術を忘れないで、捻挫をした時は自分でも処置できるようにしたいです。歩いたり教えたり忙しかったけど参加してためになったし、楽しかったです。



5月28日(日)
生田緑地にて



第50回全国子ども会育成中央会議・研究大会

川崎区子ども会連合会 仲子 先一郎

平成29年2月17日から19日まで久留米市で全国子ども会育成中央会議・研究会が行われました。テーマは「地域のまち創りは子ども会から」～子ども達に残し伝えたい自然と郷土伝統芸能！～です。

1日目は開会式の後、武末龍泰氏による記念講演「いま、大切にしたいこと」に続き、新田新一郎理事と神谷明宏氏による「子ども会の明るい未来」を考える対談がありました。また、表彰式も執り行われ、川崎市子ども会連盟からは2名の表彰に加え、感謝状が前連盟長吉井勇氏に授与されました。熊本の地震災害で中止となった「指定都市子ども会連絡協議会熊本大会」はこの場を借りて表彰式のみ行われ、川崎市子ども会連盟から4名が受賞しました。

2日目は午前中に分科会が6会場で行われ、午後から郷土芸能活動発表を8団が行ない、閉会式となりました。研修終了後は「受賞者を祝う会」を行い、川崎からの参加者全員で受賞者7名のお祝いをしました。

3日目は「新原(しんばる)・奴山(ぬやま)古墳群」視察ツアーに参加しました。「新原・奴山古墳群」は5世紀から6世紀にかけて宗像氏が築いた古墳群で前方後円墳、円墳、方墳合わせて41基が良好な状態で残っています。この夏、世界文化遺産に「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群の一部として登録が決まりました。私達は、太古の時代に思いをはせながら古墳群を回り歩きました。



みんなあつまれ、たのしいよ!

青少年育成連盟は、昭和21年に発足しました。現在は、川崎市子ども会連盟・日本ボーイスカウト川崎地区協議会・ガールスカウト川崎市連絡会・川崎海洋少年団の4団体が加盟しています。

青少年育成連盟では、子どもたちが元気に育つように、友達と仲良く遊べるように、その願いをもとに、活動を続けています。趣旨をご理解いただき、多くのお子様にご参加いただけるよう願っています。

発行 川崎市青少年育成連盟
事務局 〒213-0001 高津区溝口1-6-10
生活文化会館(てくのかわさき)3階
TEL 044-811-2125 FAX 044-811-2126

青少年団体への加入申し込み、お問い合わせは、
川崎市青少年育成連盟事務局へ

印刷 有限会社 アキプリント社